

●東京家政大学大学院 (令和5年5月1日現在)

	人間生活学	児童学児童教育学	健康栄養学	造形学	英語・英語教育研究	臨床心理学	教育福祉学
専任教員と非常勤教員の比率	8:2	7:3	6:4	9:1	7:3	3:7	6:4
留学生数	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
海外派遣学生数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

●東京家政大学大学院 (令和5年5月1日現在)

専攻	令和4年度 修了者	進学	就職						未定等	備考(教員内訳)
			教員	他の保険 医療職	他の専門 技術職	事務他	販売他	就職計		
人間生活学	1		1					1		大1
児童学児童教育学	1		1					1		大1
健康栄養学	2			1	1			2		
造形学	1		1					1		大1
英語・英語教育研究	3		2			1		3		中2
臨床心理学	8			5	2		1	8		
教育福祉学	0							0		
合計	16	0	5	6	3	1	1	16	0	大3、中2

●施設設備その他の教育研究環境

大学院関係施設は、大学16号館2階に大学院の講義室3、院生研究室6、研究科長室／客員教授控室1、事務室1がある。第1～5院生研究室には各5台のWindows PC、各1台のプリンターを設置しており、データ解析ソフトにどのPCからもアクセスできる研究環境となっている。第6院生研究室は共用プリンター、コピー機を設置し、共同利用としている。さらに学内無線LAN環境を完備し、講義室の空時間は自由に利用して研究できる環境を準備している。実験系の施設設備、実習施設としての臨床相談センター、指導教員の学生指導室、図書館、保健センター、食堂等の施設設備は大学と共用している。

●学生の学修、進路選択及び心身の健康等に係る支援

大学院における、学生の学修、進路選択への支援は、研究指導教員をはじめとする教員による指導、支援及び学生支援センターキャリア支援課の大学院担当窓口と教育支援センター学修支援課大学院担当の職員による相談、情報提供等による。心身の健康等に係る支援は、研究指導教員等、教育支援センター学修支援課大学院担当の職員の支援とともに、大学保健センターで専門職員による相談が可能な体制をとっている。

●国際交流・社会貢献等の概要 (詳細はグローバル教育センター、臨床相談センターのページ参照)

大学グローバル教育センターの協定校との国際交流プログラムに大学院生も参加できる。留学中の授業料減免も実施している。臨床心理学専攻の実習施設として学内に設けた臨床相談センターによる学外者の相談活動を、臨床心理士資格を持った指導教員とともに大学院生も担当し、地域社会に貢献している。大学院連携校はない。大学院生の研究活動の中で企業、行政等との連携が実践されている。